

# 志木二中だより



3月号 平成30年3月1日(木)  
志木市館1-3-1 TEL 048-473-2379

## 強い心 美しい心

校長 本 莊 真

3月となり、早いもので今年度も残り1か月となりました。2月は、1年生が川越に、2年生が鎌倉に校外学習に出かけ、どちらも全員が協力して班行動ができました。これからの学校生活や来年度以降の宿泊を伴う行事に繋がりますね。よくがんばりました。3年生は高校受験真っ只中、もうすぐ努力の結果がすべて出ますね。進むことになった道がベストな道だと信じます。卒業まであと半月、有終の美を飾ってください。

さて、平昌冬季オリンピックでは、日本が史上最多のメダルを獲得したと大いに盛り上がりました。私もテレビを見ながらたくさんの感動をもらいました。とくに心に残ったのが、スピードスケート女子500mの小平奈緒選手の金メダルでした。前の1000mでは惜しくも銀メダルで、前評判も高く相当なプレッシャーを感じているのだろうと想像しながら応援していました。前の組までに滑った選手が好タイムを出しており、少しのミスがあっても上位に入れられない状況で、見てるこちらがドキドキしていました。しかし、見事な滑りでトップのタイムに、興奮しました。そのとき、小平選手は口に指をあてて「次に滑る人のためにお願いします」というような動作を、熱狂する日本の応援団に示したそうです。次に滑るのは地元韓国の李相花（イサンファ）選手、この種目2連覇している強力なライバルです。前半は小平選手を上回るタイムで滑るも一歩及ばず第2位に。

後で知ったことですが、二人はライバルでありながら友人でもあるとのこと。韓国の大会で小平選手が李選手を初めて破って優勝した時、悔しいはずの李選手が困っていた小平選手のためにタクシーを呼んで料金まで払い、助けてくれたことがあったそうです。全レースが終わって、小平選手が悔し涙にくれる李選手に歩み寄って一言二言声をかけ、一緒にリンクを回りながら観客の応援に応える姿は、大変美しいものでした。



ソチオリンピックではメダルが取れず、単身オランダに渡り武者修行し、技術だけでなく精神をも鍛えて臨んだオリンピックで、優勝して目標を達成した直後も有頂天にならず、支えてくれた人への感謝や友人への思いやりがもてる小平選手の「心」が素晴らしいと感じました。

保護者・地域の皆様、この一年間、本校をご支援いただきありがとうございました。心より感謝申し上げます。